

大阪府工業指数2023年12月【速報】

毎月の生産・出荷・在庫の推移

1 概況

(1) 生産指数…94.6 前月比4.9% 3か月ぶりの上昇(季節調整済指数)

業種別にみると、化学工業、電気・情報通信機械工業など10業種が上昇し、金属製品工業、窯業・土石製品工業など4業種が低下した。

品目別にみると、アンモニア、鉄道車両等が上昇した。

また、前年同月比(原指数)は、▲1.6%と2か月連続の低下となった。

(2) 出荷指数…93.1 前月比4.5% 3か月ぶりの上昇(季節調整済指数)

業種別にみると、輸送機械工業、化学工業など11業種が上昇し、電子部品・デバイス工業の1業種が横ばいとなり、金属製品工業、窯業・土石製品工業の2業種が低下した。

品目別にみると、鉄道車両、重油等が上昇した。

また、前年同月比(原指数)は、1.4%と2か月ぶりの上昇となった。

(3) 在庫指数…100.6 前月比▲0.7% 2か月連続の低下(季節調整済指数)

業種別にみると、鉄鋼・非鉄金属工業、電気・情報通信機械工業など8業種が低下し、化学工業、汎用・業務用機械工業など5業種が上昇した。

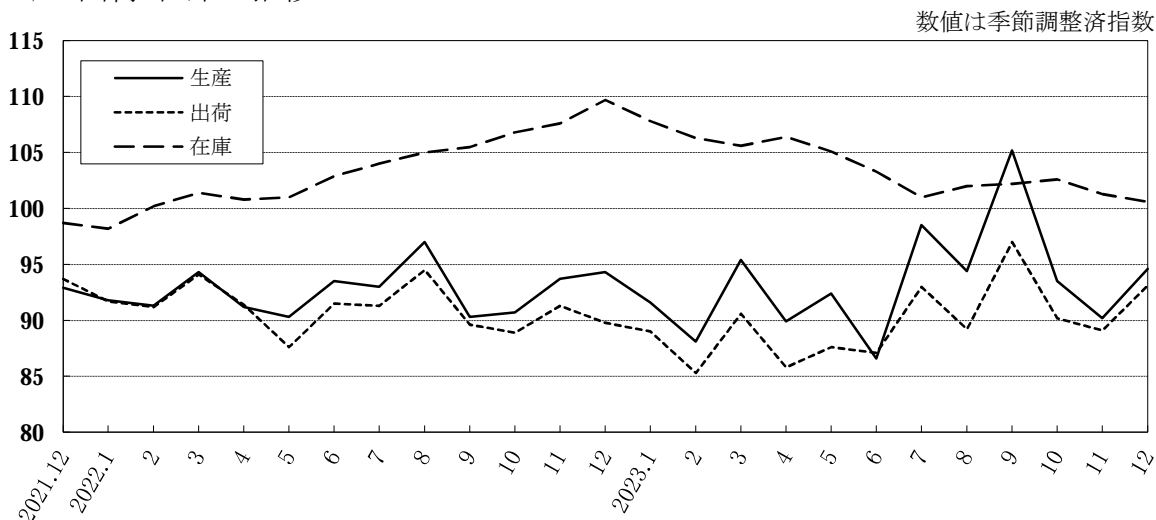
品目別にみると、銅荒引線、乾電池等が低下した。

また、前年同月比(原指数)は、▲8.3%と6か月連続の低下となった。

2015年=100

区 分		季節調整済指数		原 指 数	
			前月比(%)		前年同月比(%)
生 産	2023年11月	90.2	▲3.5	92.8	▲3.7
	2023年12月	94.6	4.9	92.8	▲1.6
出 荷	2023年11月	89.1	▲1.2	92.0	▲2.3
	2023年12月	93.1	4.5	92.2	1.4
在 庫	2023年11月	101.3	▲1.3	100.9	▲5.9
	2023年12月	100.6	▲0.7	98.8	▲8.3

生産・出荷・在庫の推移



2 業種分類別・品目別動向(寄与度順)

(1)生産 前月比 4.9% 上昇 10 業種
 低下 4 業種
 横ばい 0 業種 計 14 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	化学工業	2.409	10.0	アンモニア、酸化エチレン
	電気・情報通信機械工業	0.875	8.2	セパレート形エアコン(室外)、非標準変圧器
	生産用機械工業	0.405	3.6	ショベル系掘削機械、超硬工具
	汎用・業務用機械工業	0.360	4.7	汎用内燃機関、パッケージ形エアコン
	プラスチック製品工業	0.314	7.7	プラスチック製容器(中空成形)、プラスチック製機械器具部品
	食料品工業	0.234	2.7	チョコレート、ビール・発泡酒
	輸送機械工業	0.119	2.0	鉄道車両、自動車用機関部品(ガスケット)
	石油・石炭製品工業	0.109	7.5	重油、ガソリン
	その他工業	0.033	0.6	マーケティングペン、ゴムベルト
	パルプ・紙・紙加工品工業	0.027	1.6	段ボール原紙
	その他の上昇した品目			飲料用アルミニウム缶【金属製品工業】、 合成アセトン【化学工業】
低下	金属製品工業	▲0.321	▲3.4	橋りょう、産業用アルミニウム製品
	窯業・土石製品工業	▲0.164	▲8.1	無アルカリガラス基板、ファインセラミックス(構造材)
	電子部品・デバイス工業	▲0.158	▲17.9	アクティブ型液晶パネル
	鉄鋼・非鉄金属工業	▲0.105	▲1.6	銅荒引線、鍛鋼品
		その他の低下した品目		

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

寄与度上位10品目

区分	順位	品目	業種分類
上昇	1	アンモニア	化学工業
	2	鉄道車両	輸送機械工業
	3	セパレート形エアコン(室外)	電気・情報通信機械工業
	4	ショベル系掘削機械	生産用機械工業
	5	チョコレート	食料品工業
	6	ビール・発泡酒	食料品工業
	7	汎用内燃機関	汎用・業務用機械工業
	8	非標準変圧器	電気・情報通信機械工業
	9	酸化エチレン	化学工業
	10	飲料用アルミニウム缶	金属製品工業
低下	1	ウイスキー	食料品工業
	2	橋りょう	金属製品工業
	3	開閉制御装置	電気・情報通信機械工業
	4	銅荒引線	鉄鋼・非鉄金属工業
	5	無アルカリガラス基板	窯業・土石製品工業
	6	アクティブ型液晶パネル	電子部品・デバイス工業
	7	機械プレス	生産用機械工業
	8	試験機	汎用・業務用機械工業
	9	歯車	汎用・業務用機械工業
	10	プラスチック加工機械	生産用機械工業

(2) 出荷

前月比

4.5%

上昇 11 業種
 低下 2 業種
 横ばい 1 業種

計 14 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	輸送機械工業	1.036	14.6	鉄道車両、輸送機械用エアコン(除. 乗用車用)
	化学工業	1.000	6.7	エチレン、プロピレン
	石油・石炭製品工業	0.777	8.7	重油、軽油
	電気・情報通信機械工業	0.679	8.5	セパレート形エアコン(室外)、非標準変圧器
	汎用・業務用機械工業	0.618	8.6	汎用内燃機関、油圧機器
	食料品工業	0.420	5.0	ビール・発泡酒、新ジャンルビール
	鉄鋼・非鉄金属工業	0.377	3.2	鋼半製品、鉄鋼切断品
	プラスチック製品工業	0.313	7.5	プラスチック製容器(中空成形)、 プラスチック製フィルム・シート
	生産用機械工業	0.300	3.0	装輪式トラクタ、ショベル系掘削機械
	その他工業	0.152	3.0	ニット製繊維製品(下着・補整着・寝着類・靴下)、 マーキングペン
	パルプ・紙・紙加工品工業	0.037	2.5	衛生用紙
	その他の上昇した品目			アンモニア【化学工業】、 化粧品【化学工業】
横ばい	電子部品・デバイス工業	0.000	0.0	—
低下	金属製品工業	▲0.245	▲2.4	橋りょう、産業用アルミニウム製品
	窯業・土石製品工業	▲0.092	▲6.2	無アルカリガラス基板、電気用陶磁器
		その他の低下した品目		ウイスキー【食料品工業】、 ジェット燃料油【石油・石炭製品工業】

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

(3) 在庫

前月比

▲ 0.7%

上昇 5 業種
 低下 8 業種
 横ばい 0 業種

計 13 業種

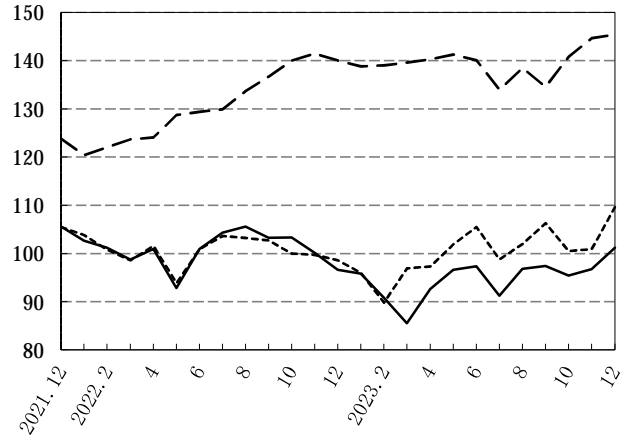
区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	化学工業	0.898	6.0	合成洗剤、ポリプロピレン
	汎用・業務用機械工業	0.060	0.5	パッケージ形エアコン、分析機器
	窯業・土石製品工業	0.029	2.2	安全ガラス、無アルカリガラス基板
	パルプ・紙・紙加工品工業	0.022	1.5	段ボール原紙
	輸送機械工業	0.019	0.9	完成自転車
		その他の上昇した品目		
低下	鉄鋼・非鉄金属工業	▲0.896	▲4.0	銅荒引線、鋼半製品
	電気・情報通信機械工業	▲0.445	▲2.8	乾電池、陸上移動通信装置
	食料品工業	▲0.141	▲3.8	チョコレート
	その他工業	▲0.092	▲1.5	繊維板・パーティクルボード、工業用ゴム製品
	生産用機械工業	▲0.054	▲2.4	装輪式トラクタ
	プラスチック製品工業	▲0.053	▲1.6	プラスチック製フィルム・シート、プラスチック製建材
	石油・石炭製品工業	▲0.029	▲0.9	軽油、アスファルト
	金属製品工業	▲0.026	▲0.2	スチール製缶、産業用アルミニウム製品
	その他の低下した品目			アンモニア【化学工業】、 鉄鋼切断品【鉄鋼・非鉄金属工業】

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

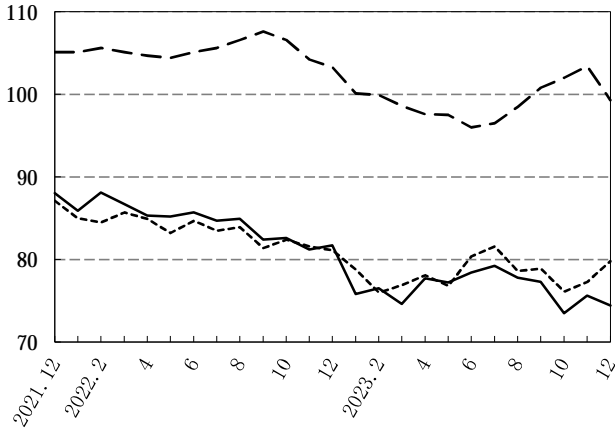
3 業種分類別の推移

数値は季節調整済指数
2015年=100
 生産 ————
 出荷
 在庫 - - - - -

汎用・業務用機械工業



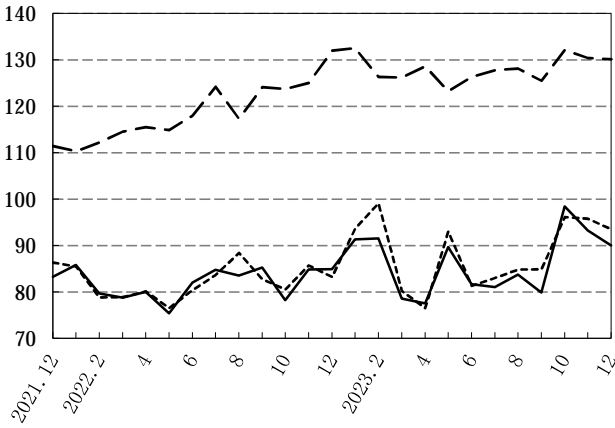
鉄鋼・非鉄金属工業



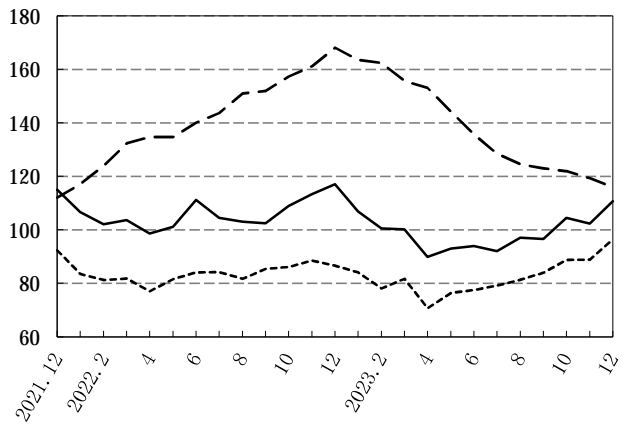
電子部品・デバイス工業



金属製品工業



電気・情報通信機械工業



生産用機械工業



輸送機械工業



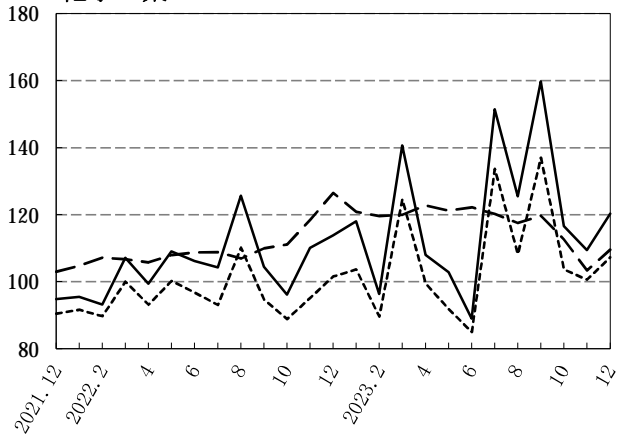
窯業・土石製品工業



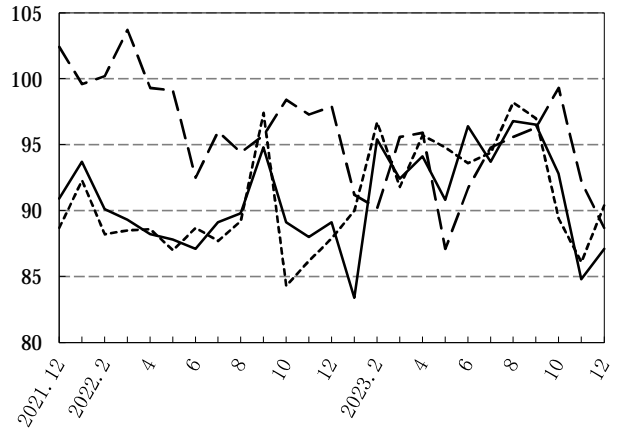
パルプ・紙・紙加工品工業



化学工業



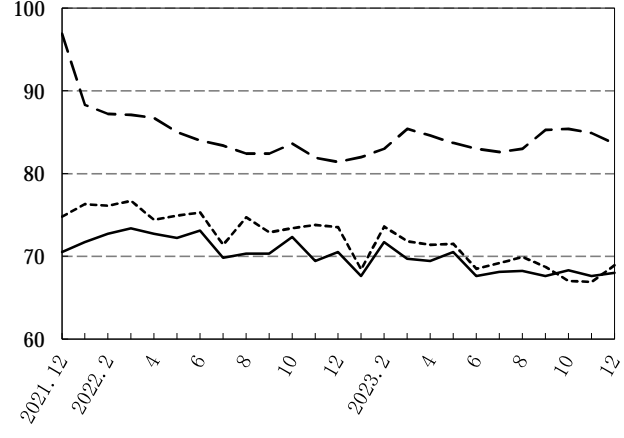
食料品工業



石油・石炭製品工業



その他工業



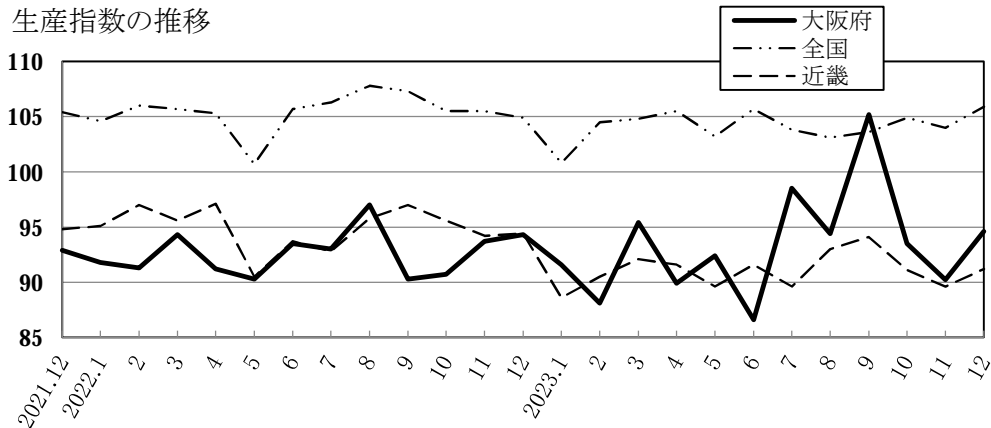
プラスチック製品工業



4 全国・近畿の状況(速報)

	大阪府 (2015年=100)		全国 (2020年=100)		近畿 (2015年=100)	
	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)
生産	94.6	4.9	105.9	1.8	91.2	2.1
出荷	93.1	4.5	105.2	2.5	90.4	1.6
在庫	100.6	▲ 0.7	102.9	▲ 1.2	101.4	0.1

注:「全国」は経済産業省、「近畿」は近畿経済産業局が、それぞれ公表したもの



1 基準年

基準時及びウェイト算定年は、2015年(平成27年)です。

2015年(平成27年)基準の指数値は、平成31年1月速報(2019年3月29日公表)から公表しています。

2 数値・符号

(1)掲載している指数値は、当月は速報値、前月は確報値です。

(2)本文中及び統計表等で用いる符号については、次のとおりです。

「▲」…… 負数であることを示す。

3 季節調整

原指数には季節変動(操業日数や決算時期による生産増減、気候や社会風習(中元、歳暮など)による需給変動など1年間でほぼ規則的に繰り返される動き)が含まれており、原指数から季節変動分を除去したものを季節調整済指数といいます。

前年同月比や年単位の動向をみる場合には原指数、前月比や足下の動向をみる場合には季節調整済指数を利用します。

4 寄与度

ある業種(品目)の増減が業種(品目)トータルでの生産指数、出荷指数、在庫指数の伸び率を何ポイント押し上げ(押し下げ)ているかを示す数値です。

$$\text{寄与度} = \frac{\text{今月のA業種(品目)の指数} - \text{前月のA業種(品目)の指数}}{\text{前月の業種(品目)トータルの指数}} \times \frac{\text{A業種(品目)のウェイト}}{\text{業種(品目)トータルのウェイト}} \times 100$$

※経済産業省生産動態統計調査など指数値の計算に利用するデータについて、

2022年の実数値が補正されたため、同年の指数値を補正しました(年間補正)。

2023年7月速報(2023年9月29日公表)から補正後の指数値を用いています。

年間補正は毎年実施しますので、2023年1月以降の指数値も今後変わることがあります。

▼詳細な統計データや工業指数については、大阪府ホームページをご覧ください。

大阪府ホームページ「大阪府工業指数」 <https://www.pref.osaka.lg.jp/toukei/iip/>

▼本資料についての問合せは下記へお願いします。

大阪府総務部統計課 分析・利活用促進グループ 工業指数担当 TEL:06(6210)9195(直通)